

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 1 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 武蔵新城校

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			各支援スペースを、パーティションで区分けしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令に基づいて適切な人数を配置しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	個室ではなくセミオープンな空間において、可能な限り本人の特性に配慮をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務改善のために全員 PDCA サイクルに参画できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の結果をもとに会議の場を持ち、保護者様の意向を把握し、それを踏まえての業務改善に努めて参ります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			きらり武蔵新城校のホームページに毎年、結果を掲載しております。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	神奈川県による第三者評価項目を基に、事業所内で月 1 回、独自の評価活動を行っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修を受けています。発達支援研究所が主催の定例研修も実施しております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			お子さまごとに、支援時の様子、発達検査の結果などをふまえてアセスメントをしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			法人が定めたアセスメントシートを使っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		担当している各職員の意見を集約し、活動プログラムの立案をしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援のねらいに対して、中心と、周辺領域に広がりを持つ支援となるよう配慮しています。今後もその時の発達段階に応じた活動となるよう、配慮と工夫をしていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			指導員は支援計画を参考に、お子様の現状に合わせた支援をおこなっています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	小集団は、コロナウイルス感染対策もあり、実施しませんでした。今後の状況を踏まえて、ご希望に即して実施を検討いたします。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		毎日、午前の時間帯もしくは職員全員での共有ができる早いうちの時間帯に、ミーティングをおこなっています。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日のミーティングで情報共有をしています。また、早めに共有が必要な事項は、必要に応じて迅速に打ち合わせをおこなっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の発言や気持ちの変化などを、今後のよりよい支援につなげるため、詳しく記録することを意識しております。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最長でも6か月以内に実施し、現状に即した計画づくりをしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか		○		限られた広さの中で、可能な活動を織り交ぜて実施しております。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか		○		今年度は該当ありませんでした。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎未対応のため、学校と直接的な情報共有や連絡調整はありません。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	今年度は該当ありませんでした。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		今年度、保護者様のご希望はありませんでした。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	今年度は該当ありませんでした。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		おもに中央療育センターと、必要に応じてご利用児童についてのご様子やモニタリングの内容を共有しております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	コロナウイルス感染対策もあり、実施しませんでした。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	コロナウイルス感染対策もあり、地域の各会議への参加はありませんでした。
連携	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援ごとに成長・向上していく様子を、保護者様と逐一共有させて頂いております。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		本格的なトレーニングはおこなっておりませんが、お子さまに対する日ごろの接し方や言葉のかけ方など、必要に応じて助言させて頂いております。
保護者へ	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時や計画更新時に実施しています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様の困りごとをお聞きし、必要に応じて、時間を設けて面談をおこなっております。

の 説 明 責 任 等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナウイルス感染対策や、個人情報の保護の観点から、開催しませんでした。ご要望によっては検討させていただきます。
	㉑	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を受けた場合、いただいたご意見・改善のご要望をその都度職員で共有し、記録をとり、今後善処するための体制を整えております。
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			会報とは形は異なりますが、教室のブログのやツイッターで、教室の様子やご連絡などをその都度周知しております。
	㉓	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の保護を、社会的使命と意識して丁寧に取り扱っております。
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			メール・LINE をすべての利用者様とつながらせていただいております。ご様子の共有や情報のやり取りをしやすい環境にしております。
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナウイルスの感染対策のため、対外行事は総合的に自粛いたしました。
非 常 時 等 の 対 応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			非常時のマニュアル・ガイドライン等は、冊子や掲示にて、ご覧できるようにいたします。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			水害・地震など、月ごとに訓練内容を変え、実施しております。利用者様にご協力いただく際はお声かけさせていただきます。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			きらりの虐待防止委員会を実施し、認識と防止の意識のもとで対応しております。
	㉙	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	該当する利用者様がおりませんでした。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供が無く、該当ありません。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			過去に発生した事象をその都度詳細を記録し、いつでもさかのぼれるよう、まとめております。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者様等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 1日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 武蔵新城校

保護者等数：40 回収数：40 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	31	8	1	「動きが活発なお子様には狭いかも」→教室の構造上、広さは限られてしまいますが、安全に細心の注意を払って支援いたします。／「遠隔支援のため（どちらともいえない）」
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	35	4	1	「素晴らしいと思う。大切にしてほしい」→ありがとうございます。ご利用者様のご期待に応えられますよう、精進いたします。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	23	15	「どのようなお子様にも配慮を、とはいかなそう」→スロープ・手すりはありませんが、室内は安全度の高い段差のない構造で、極力配慮をいたしております。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>(1)</sup> が作成されているか	37	2	1	「いつもよく相談にのっていただいています」→ありがとうございます。親御さまの困りごとを把握できますよう、連携をさせていただきます。
	⑤	活動プログラム <sup>(2)</sup> が固定化しないよう工夫されているか	30	9	1	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	12	21	「コロナ禍なので交流が難しいかと思われます」・「特に希望しません」→コロナ禍の状況も含めまして、保護者様のご希望の状況も考慮しながら実施の有無を検討させていただきます。
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	39	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	37	2	1	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	8	0	「とても助かっております」→今後もお子さまのために、可能な限りお力添えできればと思っております。ありがとうございます。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	17	17	「親同士の連携は重要だと思うが、難しそう」・「特に希望しません」→保護者様のご希望の有無や、コロナ禍の状況を鑑みまして実施を検討させていただきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	19	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	37	3	0	・ご回答ありがとうございます。メールや LINE のご利用で、さまざまな連絡やお困りごとなどを早い段階で把握できますようにしております。

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31	17	2	・営業日のご連絡や、毎年の事業所評価の内容について、当教室のホームページにて周知しております。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	35	5	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	22	17	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	19	4	・月に1回、防災訓練を実施しております。実施の様子をブログなどでの発信によって、周知していきます。また、ご利用者様に参加いただく際は、こちらから前もって依頼をさせていただきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	39	1	0	「とても楽しみにしている（2名）」→ありがとうございます。お子さまの心の居場所としての時間・空間として過ごせますよう、常に心がけております。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	38	1	1	（はい）「いつも親身になって話を聞いてくださり感謝しています」→今後もお子さま方のために、スタッフ一丸となって精進いたします。ありがとうございます。／（いいえ）「ニーズと支援が一致するのは難しいなと感じています」→貴重なご意見をありがとうございます。勉強不足・技能不足の点を補い、利用者様のご期待に少しでも応えられますよう精進いたします。

（無回答は「どちらともいえない」に含みます）

#### <その他のご意見>

社会に出て、居場所があり、生活も成立させられることに向かっているのが、こういった事業所を成り立たせる根拠だと思います。自治体も世間も、そのための理解を示して助けてくれるのだと思うのですが、なかなかそのための大きなビジョンが見えず、共有もできていない気がします。作業では向かえない大きな思考活動だと思うので、すぐには難しいでしょうが、そのための努力は見えるようにしていないと、補助などもどんどん小さくされてしまいかねません。余計な心配かもしれませんが、そろそろ社会へ出るビジョンが示せるよう、動かれた方がよいか、と思います。大切な場所だけに、ずっと有ってほしいと思います。

→ 貴重なご意見、ありがとうございます。児童様方へのこのような福祉サービスも、法制化されて年数が浅いこともあり、まだ行政としても明確な骨子というのは確立していないのかもしれませんが。最近は「発達障害」という言葉が SNS などでも頻回ピックアップされることも増えてきました。私どものような福祉サービスは、今後の世の中にとって欠かすことのできない存在になりつつあることは確かだと思います。お1人でも多くのお子様の将来への一助と成りうることで、世の中にとってこのようなサービスや事業所のさらなる必要性や存在の大切さが、しかるべきところに届いていくと思いますので、今後も日々、お子さま方のために精進してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

- (1) 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
- (2) 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。